

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

広島市信用組合（証券コード：－）

【据置】

長期発行体格付 格付の見通し	A + 安定的
-------------------	------------

■格付事由

- 広島市に本店を置く資金量 8,800 億円の地域信用組合。経営トップの強力なリーダーシップのもと、経営資源を預貸業務へ集中させスピーディーな融資可否の判断を行えることが強みとなっている。格付には、当信組のビジネスモデルに対する評価や、収益力の高さを反映している。堅調な業績などを背景にコア資本比率は相応の水準まで改善しており、当面も現状程度を維持することは可能と JCR はみている。
- 基礎的な収益力は高い。コア業務純益は、貸出金の増加による貸出金利息の増収に加え、経費および資金調達費用の抑制により、長期にわたり増益を続けてきた。足元においても、従来と比べて高水準を維持している。25/3 期上半期の ROA（コア業務純益ベース）は 1%を超えており、与信費用を控除したベースでも高い水準にある。近年の不動産価格高騰などを受け与信スタンスを見直しており、貸出金残高の増加ペースは緩やかになっている。貸出金利回りは、ミドルリスク先に対する融資やスピーディーな融資可否の判断などにより、他の地域金融機関と比べ高い水準を確保できている。大口優良先への貸出増強などにより低下傾向にあったが、小口先での残高積み増しや市場金利の上昇により、足元では反転している。収益の柱である貸出金利息の増収が続いており、職員の待遇改善などに伴う経費の増加を吸収しつつ、コア業務純益は当面も堅調に推移すると JCR はみている。
- 貸出資産の質は維持されている。パルクセールによる不良債権のオフバランス化を積極的に行っており、金融再生法開示債権比率は 2%弱（部分直接償却は未実施）と抑制されている。ミドルリスク先を主要な貸出先としており、今後も一定の与信費用の発生が見込まれるものの、徹底した小口分散や保守的な引当がなされていることなどを勘案すれば、与信費用はコア業務純益で十分に吸収可能な範囲内に収まると JCR はみている。有価証券にかかるリスク量は、資本対比でみて抑制されている。預証率は 7%程度と低く、保有債券は国債や高格付の事業債を中心に運用している。
- 貸倒引当金などを控除した調整後コア資本比率は 24 年 9 月末で 10%台半ば。リスクアセットの拡大が抑えられている一方、高い収益力を背景に内部留保が順調に蓄積しており、資本水準は 22 年 3 月末の 9%台前半から速いペースで改善している。今後、貸出金残高の増加によりリスクアセットの拡大ペースが再度加速する可能性はあるが、その際は収益力も高まっていく公算が大きく、現状程度の資本水準は維持可能と JCR はみている。

（担当）大石 剛・高澤 俊太郎

■格付対象

発行体：広島市信用組合

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	安定的

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2025 年 5 月 12 日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：宮尾 知浩
主任格付アナリスト：大石 剛
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014 年 1 月 6 日) として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2024 年 10 月 1 日)、「銀行等」(2021 年 10 月 1 日) として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 広島市信用組合
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル